

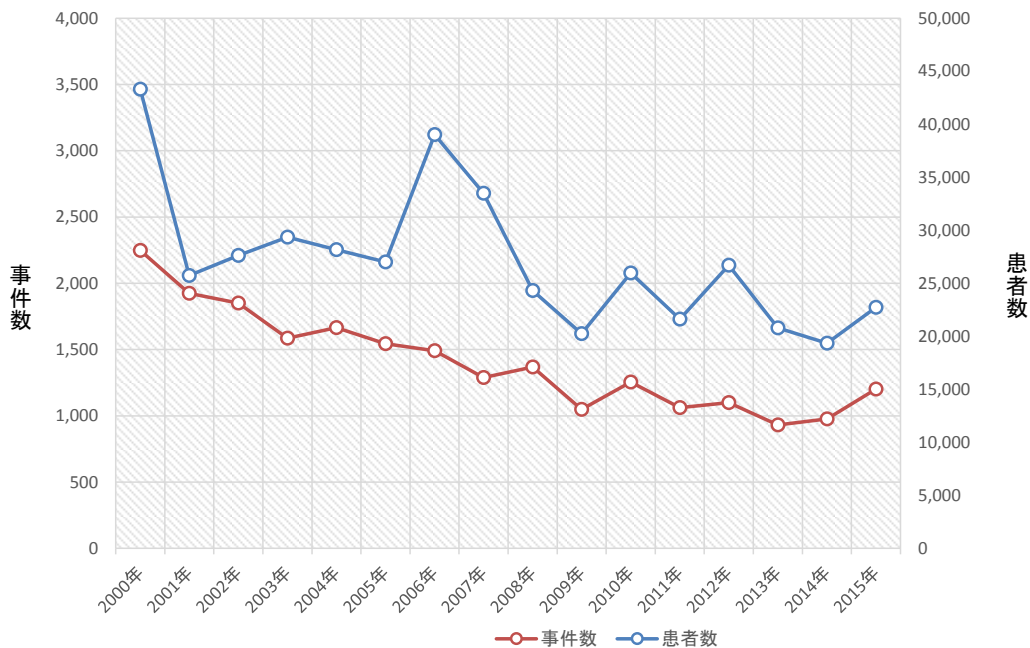


1. 全国食中毒の事件数と患者数の推移

2000年～2015年の全国における食中毒の発生状況を見ますと、事件数は2000年をピークに減少傾向が認められ、2015年は1,202件で、2014年(976件)に比べて200件以上増加しました。

患者数は、ノロウイルスが猛威を振るった2006年に約30,000人発生しましたが、2008年以降は約20,000～30,000人の間で推移しており、2015年は22,718人でした。

参考：厚生労働省ホームページ「年次別食中毒発生状況」





2. 病因物質別の食中毒発生状況(2014年)

2015年の病因物質をみますと、事件数はノロウイルス(481件)、カンピロバクター(318件)、で全体の約3分の2を占めています。2014年は少なかったアニサキスによる事件が127件と3番目でした。患者数はノロウイルスが14,876人で全体の65%以上を占めています。2015年はカンピロバクターによる患者数が2,089人と二番目に多く、サルモネラ属菌による患者数が1,918人と3番目でした。
参考:厚生労働省ホームページ「年次別食中毒発生状況」

